

<b>令和5年度 指定管理者施設管理評価シート</b>			<b>部課名</b>	文化産業観光部文化振興課
<b>施設名称</b>	4	東京都台東区立朝倉彫塑館	<b>指定管理者</b>	公益財団法人台東区芸術文化財団
<b>選定方法</b>	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		<b>指定期間</b>	R2.4.1    ~    R7.3.31

1. 施設及び事業の概要	
(1)	[設置目的] 台東区名誉区民であり、日本彫塑界最高峰を極めた朝倉文夫の彫塑芸術作品を気軽に鑑賞できるようにすることで、親しみと理解を深め、芸術文化の向上に寄与するとともに、区民文化の振興を図る。
(2)	[所在地] 台東区谷中7-18-10 [規模] 延べ床面積 1,085.02㎡ RC造(アトリエ) 木造瓦葺(住居) 地上3階地下1階 屋上/ポンプ室、機械室、事務室、アトリエ、住居等(公開部分 洋室、和2室)、展示室、収蔵庫(RC造)、庭園など
(3)	[委託事業] 彫刻、彫塑像等の美術作品の収集、保管、展示。朝倉文夫に関する資料の展示。彫塑等に関する調査及び研究。施設の利用に関する事業。施設、付帯設備及び物品の保全・調整などの事業。 [自主事業] 特別展「生誕140年 アトリエの朝倉文夫」、特集展示 I「朝倉文夫の意外な仕事2」 II「生誕100年朝倉撰diary」&「朝倉文夫と現代彫刻家の猫」 III「生誕100年朝倉撰diary」&「北村西望との関係」、ギャラリートーク、キッズサポーター
(4)	[利用者] 全来館者 [利用料金制] <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
(5)	[開館日・時間] 休館日(月曜日/木曜日/12月29日~1月3日/特別整理期間)を除く 開館時間: 午前9時30分~午後4時30分(入館は午後4時まで)
(6)	[人員体制] 10名 (内 訳) 常勤固有職員(1) 派遣職員(1) 再任用(1) 研究員(1) 会計年度任用職員(1) 専門員(1) 特例嘱託員(4) (前年増減) 再任用1名増、会計年度任用職員1名減、特例嘱託員1名増

2. 予算決算		R3予算	R3決算	R4予算	R4決算
収入	委託料(指定管理料)	29,036,000	26,263,068	29,495,000	27,907,655
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入( )	0	0	0	0
	計	29,036,000	26,263,068	29,495,000	27,907,655
支出	人件費	0	0	0	0
	光熱水費	3,065,000	2,859,976	3,134,000	3,133,089
	維持管理費(委託料・賃借料)	22,609,000	20,325,149	22,358,000	21,025,001
	修繕費	884,000	874,995	901,000	900,680
	事業費	0	0	0	0
	その他支出(消耗品費等)	2,478,000	2,202,948	3,102,000	2,848,885
	計	29,036,000	26,263,068	29,495,000	27,907,655
収支			0		0

3. 活動指標	単位	(目標値)R6年度	R2年度	R3年度	R4年度
開館日数	日	254	128	221	254

4. 成果指標	単位	(目標値)R6年度	R2年度	R3年度	R4年度
入館者数	人	30,000	7,617	16,541	26,602

## 5. 前回評価及び第三者評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

感染症対策を行いながら、ギャラリートーク、特別見学会、子供向けのイベントなど継続して実施している。

## 6. 評価の観点

(20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり)  
(13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った

(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	区に対して適切に連絡を取り、また、必要な事項については区と協議しながら、適正な管理体制のもと運営が行われた。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
19 / 20 点	感染症の拡大など社会情勢に左右されてはいるが、生前のアトリエ再現を目玉に、特別展「生誕140年 アトリエの朝倉文夫」を開催している。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	備品及び物品の管理は適切に行われた。また施設の修繕について、区に迅速に連絡し適正な対応を行った。
(4) サービス向上の取り組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取り組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	「朝倉文夫彫刻家としての歩み」等の動画を平日に限定して、館内で放送していたが、来館者の要望に応え、土日・祝日も放送を行った。 リピーターに対し、展示会のご案内を送付し、好評を得ている。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
18 / 20 点	図録・小冊子の売上が令和3年度より増加しており、音声ガイドの利用や特別展講演会の開催もあり、自主事業収入の増加につながった。 管理経費については、最低限の補修等は必要となるが引き続き削減に努めていく。
(6) 優れた取り組み 《加点項目》 ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
— 点	

## 7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)

<p><b>良好</b></p> <p>( 97 / 110点)</p>	<p>【所見】</p> <p>常設展示内の特集では朝倉文夫と同世代の彫刻家との関係に着目し、他館連携で展示や講演を行い、対談動画をYoutubeで公開した。また、令和3年度と比較し入館者数が増加している。</p>	<p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <p>新型コロナの影響により減少した来館者数も徐々に回復しつつある。今後もお客様の期待に応えるような企画や展示を実施する必要がある。</p>
--------------------------------------	--	--